

ティーンズ通信

START!

2016年が始まりました。これを機に新しいことを始めてみませんか？何かを始めて、それがきっかけで自分や周りが変わっていく…そんな本を紹介します。

「ジュンのための6つの小曲」

古谷田奈月/著
新潮社 Y913

身の回りのささいな音から音楽をつくり、人目も気にせず歌いだしてしまうジュン。クラスでは変わり者扱いされているが、同じクラスのトクが奏でるギターを聴いたことをきっかけに、時にはケンカをしながらも、2人は共に学校生活を送るようになる。

「語りつく者」

パトリシア・ライリー・ギフ/作
さ・え・ら書房 Y933

まわりになじめず、不器用なエリザベスは、叔母から自分とそっくりな少女の肖像画を見せてもらう。その絵の少女は、200年以上前の祖先ズィー。エリザベスはこの絵にひかれて、ズィーの足跡をたどっていく。

「小説の書きかた」

須藤靖貴/著
講談社 Y913

文芸部の部長である大造のアイデアで、女子部員3人でリレー小説を共作して文学賞に応募することになった。小説の書き方をストーリー仕立てで読みながら楽しく学べる1冊。

「うたうとは小さいのちひろいあげ」

村上しいこ/著
講談社 Y913

いじめを受けて不登校になってしまった綾美と、そのことを責めて高校では綾美の他に友達を作らないと決めた桃子。桃子は、明るくて強引な上級生に誘われて「うた部」へ入部する。うた部の部員達は、自分と向き合い、短歌をつくることで、道を切り開いていく。

NO.37 2016年3月発行

川口市立図書館

「5 アンペア生活をやってみた」

齋藤健一郎/著
岩波書店 Y590

新聞記者である著者は、福島原発事故の経験から、電力会社の電気に頼らない生活を始めた。暑い夏・寒い冬も、家電はなるべく使わず、電気は自分で作っていく。ユーモアと工夫に溢れた体験記。

「ジンリキシャングリラ」

山本幸久/著
PHP研究所 Y913

入部して、すぐにケンカをして野球部を退部させられた雄大は、可愛い先輩珠井に誘われて人力車部に入ることにした。人力車を作る製作班と、イベントでお客を乗せる車夫。それぞれが活躍していく部活青春小説。

「レモネードを作ろう」

ヴァージニア・ユウワー・ウルフ/作
徳間書店 Y933

14歳のラヴォーンは、大学への資金稼ぎのため、ベビーシッターを始めた。バイト先の2人の子どもの母親は、17歳のシングルマザーのジョリー。大学へ入り、この町を出て、いい暮らしがしたいと思っていたラヴォーンだがジョリー達といううちに、段々と考えが変わってきて…。

ながーい夜のおはなし

先日、元郷中学校に出向き、1年生の皆さんに『真夜中の秘密』というテーマでブックトーク（本の紹介）をしました。夜は、読書をするにはぴったりな時間です。「夜」「夢」をキーワードにおすすめの本を紹介します。

「夜を守る」

石田衣良／著
双葉社ほか Y913

フリーターの繁、古着屋手伝いのサモハン、福祉課で働くヤクショは上野・アメ横で暮らす幼なじみ。仕事後にガード下の定食屋に集まるだけが楽しみの芽えない日々を送っていた。ところが、ある日、通り魔に息子を殺された老人と知り合い、アメ横の夜を守るべく立ち上がった！

「13カ月と13週と13日と満月の夜」

アレックス・シアラー／著
求竜堂 Y933

カーリーの学校に転校してきたメレディスには、とんでもない秘密があった。年老いた魔女に身体を乗っ取られたというのだ。それを知ったカーリーは、本当のメレディスを取り戻すため奮闘する。「13ヶ月と13週と13日」が過ぎると元の体には戻れなくなる。そして、とうとう運命の満月の夜がやってくるのだが…。

「クラブアート」

オトフリート=プロイスラー／著
偕成社 Y943

仲間の少年二人と放浪生活を送っていたクラブアートは、ある時から奇妙な夢を見るようになる。その夢に従って水車場の見習となったクラブアートは、昼は水車場の職人として働き、金曜の夜には12羽目のカラスとなって、親方から魔法を習うことになる。

「すごい夜空の見つけかた」

林完次／写真・文
草思社 748

天使の梯子（はしご）、皆既日食、月のクレーターなど、選りすぐりの夜空の写真と文章とともに紹介した本。空を見るのが楽しくなる1冊です。

ブックトークで紹介した本

「かようびのよる」

デヴィッド・ウィーズナー／作
徳間書店ほか E

アメリカのとある町の火曜日の夜、静まりかえった池の水面から浮かび上がったのは蓮の葉に乗ったカエルたち…。夜空を飛ぶカエルは、一体どこへ向かうのでしょうか。

「トムは真夜中の庭で」

フィリパ・ピアス／著
岩波書店 Y933

ある夏休み、おばさんの家に預けられたトムは、広間で不思議な古時計を見つける。真夜中に時を告げる時計の音に導かれ、トムが見たものは、夜にしか現れない美しい庭園だった。

「夢のつづきのそのまたつづき」

パウル=マール／著
偕成社 K943

両親が旅行に出かけてしまって、ヤーコブさんと留守番をすることになったリップル。夜遅くまで読んでいた本を、ヤーコブさんととりあげられてしまったリップルは、なんとお話のつづきを毎晩夢でみることに…。

「宇宙のみなしご」

森絵都／著
講談社ほか Y913

中学2年生の陽子は、なんとなく学校に行かなくなって2週間が経つ。陽子には、1才年下のリンという弟がいて、ふたりは小さな頃から仲の良いきょうだいだった。ある日、陽子とリンは、真夜中に他人の家の屋根にのぼるといふ、とっておきの遊びを思いついた。